

日

令和4年度くらしと金融問題研究会活動報告書

月日	区分	講師	テーマ・内容等	参加人員
4/6	例会	建部 奈津子氏	「語り手なき時代へ向けて伝え遺すこと」	18名
5/11	例会	岡田 朋子氏	「コロナ禍におけるメンタルヘルスについて」	21名
6/8	例会オープン	佐藤 恵子氏	「高齢者のための資産形成」	会員16名、一般13名(開催時間13:30~)
7/6	例会	横井 規子氏	「理想の住まい探して気づいた。 老後 2,000 万円あったらいいと思ったその理由」	20名
8/3	例会オープン	加藤 桂子氏	「葬儀とお墓の知っトク!講座」	会員16名、一般11名(開催時間13:30~)
9/7	例会	永嶋 猛氏	「反社による特殊詐欺被害の防止等」	14名
9/27	外部学習	—	北海道議会新庁舎視察見学	会員12名、一般5名
10/5	例会	鍋山 敏文氏	「パワハラ防止法の施行について」	15名
11/2	例会	本間 允秀氏	「日本の財政は(破綻する・破綻しない)どっち?」	16名
12/7	例会	辰田 光司氏	「知ってお得!「ふるさと納税」丸わかり講座」	20名
1/11	総会	—	2022年度の総括と2023年度の活動計画	16名
1/27	相談会	吉原 進氏 三澤 健氏	しみさぼ・おためしマルシェ3	予定
2/1	例会	恩田 雅之氏	「資産運用のポイント ~債券編~」	予定
3/1	例会	三澤 健氏	「電気の安全な使い方と家庭でできる省エネ」	予定

【特記事項】

1. 6月と8月の定例会を札幌消費者協の一般会員に参加の案内をするオープン講座とした。
2. 例年参加している日本FP協会主催の「FPフォーラム」(10月22日)と共催し、協会のPR紙の配布と当研究会の活動紹介を行った。
3. 外部学習については北海道議会新庁舎の見学会を実施した。
4. 札幌市市民活動センター主催のしみさぼ・おためしマルシェ3(NPOとの出会い創出事業)に当研究会として参加する。

資料-2

令和4年度 暮らしと金融問題研究会収支決算(見込み)

[収 入]

科 目	収 入 額	備 考
前期繰越金	16円	
前期未納収入	0円	
会 費	35,000円	会員1人1,000×35名=35,000円
合 計	35,016円	

[支 出]

科 目	決算見込額	備 考
定例会資料代	22,000円	2,000円×11回=22,000円
総会資料代	1,000円	
会議費	6,000円	300円×20名=6,000円(総会茶菓代)
剰余金	6,016円	2月例会の茶菓子代
合 計	35,016円	

資料-3

令和5年度 暮らしと金融問題研究会収支予算書(案)

[収 入]

科 目	予 算 額	備 考
会 費	40,000円	会員1人1,000×40名=40,000円
合 計	40,000円	

[支 出]

科 目	決算見込額	備 考
定例会資料代	22,000円	2,000円×11回=22,000円
総会資料代	1,000円	1,000円×1回=1,000円
会議費	8,000円	8,000円×1回=8,000円(総会茶菓代)
予備費	9,000円	外部講師料、会場費など
合 計	40,000円	